

科目名	災害医療概論	災害医療ロジスティクス概論	災害医療の人的資源・関係機関等に関するロジスティクス	災害医療の物的資源・輸送に関するロジスティクス
必修科目/必修選択	必修	必修	必修	必修
実施形態	e-learning	e-learning	e-learning	e-learning
担当教員	高橋昌	中込悠	中込悠	中込悠
科目区分	災害医療科目群	災害医療科目群	災害医療科目群	災害医療科目群
科目番号	B01	B02	B03	B04
総時間数	1時間	1時間	1時間	1時間
履修条件	全コンテンツの視聴が必要（必修科目）	全コンテンツの視聴が必要（必修科目）	全コンテンツの視聴が必要（必修科目）	全コンテンツの視聴が必要（必修科目）
更新日	2023/10/1	2023/10/1	2023/10/1	2023/10/1
概要	災害医療では医療の需要と供給のバランスが圧倒的に崩れることになり、通常時の医療で助けられた命が助けられない状況になってしまう。そのため、災害医療の原則や方法論に則り、体制整備や他組織との連携が重要になる。	災害時において災害支援活動を行うために必要な活動環境（情報管理や安全管理など）を確保するのは困難である。そうした環境を整備していくことはロジスティクスの重要な役割であり、そのロジスティクス能力が活動の成果を左右する。	災害時には様々な保健医療活動チームが被災地内で活動することとなる。各々の活動チームが収集した被害状況や保健医療福祉ニーズなどを集約・分析をして、保健医療福祉活動の総合調整に活用することが求められる。	地方自治体や関係機関は災害時に必要な物資を備蓄している。災害時にはその備蓄物資を輸送するための体制を整備し、被災地への物資供給が行われるように、これらの体制は国や地方自治体の災害対策計画や指針に基づいて整備されている。
科目のねらい	災害医療概論について学ぶ	災害医療ロジスティクス（概論）について学ぶ	災害医療の人的資源・関係機関等に関するロジスティクスについて学ぶ	災害時の物的資源・輸送に関するロジスティクスについて学ぶことができる。
学習の到達目標	災害医療について理解することができる。 災害医療の原則について理解することができる。 災害医療体制について理解することができる。	災害時のロジスティクスについて理解することができる。 ロジスティクスの重要性について理解することができる。	保健医療福祉活動について理解することができる。	災害時の物資の備蓄や輸送について理解することができる。
参考文献				
評価の方法	e-learning内で小テスト実施	e-learning内で小テスト実施	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施
授業計画詳細情報	1.災害医療概論 2.災害医療の原則	1.ロジスティクスについて（総論） 2.資源管理について 3.活動環境整備について 4.情報管理について	1.災害医療の人的資源について 2.災害医療に係る関係機関等について	1.災害時の物的資源について 2.災害時の輸送について

科目名	災害医療の情報管理・通信に関するロジスティクス	災害医療の活動環境・後方支援に関するロジスティクス	災害医療のマネジメント、コーディネーションに関するロジスティクス	災害医療における安全管理・マナー等について
必修科目/必修選択	必修	選択必修	選択必修	選択必修
実施形態	e-learning	e-learning	e-learning	e-learning
担当教員	中込悠	中込悠	中込悠	中込悠
科目区分	災害医療科目群	災害医療科目群	災害医療科目群	災害医療科目群
科目番号	B05	B06	B07	B08
総時間数	2時間	1時間	1時間	1時間
履修条件	全コンテンツの視聴が必要（必修科目）	1コンテンツごとの視聴可	1コンテンツごとの視聴可	1コンテンツごとの視聴可
更新日	2023/10/1	2023/10/1	2023/10/1	2023/10/1
概要	災害時には様々な情報が錯綜し、混乱をきたす。適切な情報管理をすることにより、適切な意思決定等に繋げることができる。また、災害の状況によっては通信が途絶することもある。災害時における衛星電話の特徴を理解し、使用することが重要である。	災害時には平時と異なる環境において活動が求められる場合がある。通信や宿泊場所の確保・整備が、災害時の活動パフォーマンスを向上させることに繋がり、結果として効果的な災害支援活動となる。	現在、我が国では災害医療コーディネーターは、医療資源（ヒト、モノ）の配分や医療要員の配置、患者の受け入れや店員の調整などを行い、迅速かつ効率的な医療活動が行われるように支援をする。	災害時には平時と違い、活動時に安全性が確立されているとは言えないからこそ、安全管理に対して強く意識を持つことが重要である。また活動中にしっかりと休養・睡眠を取ることが活動パフォーマンス向上にもつなげることができる。
科目のねらい	災害時の情報管理（記録、共有、発信、管理）と通信に関するロジスティクスを学ぶ	災害時の活動環境・後方支援に関するロジスティクスについて学ぶ	災害時のマネジメント、コーディネーションに関するロジスティクスについて学ぶ	災害医療における安全管理・マナー等について学ぶ。
学習の到達目標	災害時の通信手段・方法について理解することができる。 情報管理（経時的活動記録）について理解することができる。 広域災害救急医療情報システム（EMIS）について理解することができる。	活動環境整備について理解することができる。 後方支援活動について理解することができる。	災害医療コーディネーター制度について理解することができる。	安全管理の基本及び安全管理体制を理解することができる。 移動時の安全管理について理解することができる。 活動隊員の健康管理について理解することができる。
参考文献				
評価の方法	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施
授業計画詳細情報	1.災害時の通信について 2.通信手段の種類と特性 3.情報管理について	1.活動環境整備について 2.生活環境整備について 3.後方支援について	1.災害時のマネジメントについて 2.災害時のコーディネート制度について	1.安全管理体制について 2.移動時の安全管理について 3.活動隊員の健康管理について 4.被災地でのマナーについて

科目名	災害医療での受援に関する ロジスティクス	災害時の医療に関係する主な機関・組織・職種	災害時の医療体制	災害時の調整
必修科目/必修選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択必修
実施形態	e-learning	e-learning	e-learning	e-learning
担当教員	中込悠	中込悠	高橋昌	高橋昌
科目区分	災害医療科目群	災害医療科目群	災害医療科目群	災害医療科目群
科目番号	B09	B10	B11	B12
総時間数	1時間	1時間	1時間	1時間
履修条件	1コンテンツごとの視聴可	1コンテンツごとの視聴可	1コンテンツごとの視聴可	1コンテンツごとの視聴可
更新日	2023/10/1	2023/10/1	2023/10/1	2023/10/1
概要	自施設が被災した際には早急に被害の状況を確認し、被害がある場合にはBCPに則り、復旧させる必要がある。自施設だけで対応できない場合には、人的支援や物的支援などの外部支援を受けることになる。災害時には通常の供給体制とは異なり、様々な外部支援団体が入るため、注意が必要である。	災害時には多くの組織や団体が活動することとなる。お互いの活動内容や特徴等を理解しつつ多職種との協働・連携が重要である。	我が国では災害時の医療体制を確保するために災害拠点病院やDMATの体制整備が行われてきた。また、災害医療情報システムを構築し医療情報の共有や連携ができるようになった。	災害時には様々な調整が求められる。医療資源の効率的な活用や配分、患者搬送先や搬送手段など多岐に及ぶ。災害時の調整をスムーズに行うためには事前の訓練や準備が欠かせず、災害時の状況や規模に応じて柔軟に行われる。
科目のねらい	災害医療における受援に関するロジスティクスについて学ぶ	災害時の多職種連携について学ぶ	災害時の医療体制について学ぶ	災害時の調整について学ぶ
学習の到達目標	BCPについて理解することができる。受援の際の注意点について理解することができる。	災害時の多職種連携について理解することができる。 災害医療コーディネーター制度について理解することができる。	我が国の災害医療体制について理解することができる。 広域災害医療情報システムについて理解することができる。 DMATについて理解することができる。	災害時の調整について理解することができる。
参考文献				
評価の方法	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施
授業計画詳細情報	1.災害時の受援体制について 2.BCPについて	1.災害時の他職種連携について	1.我が国の災害医療体制について	1.災害時の医療調整について

科目名	特殊災害時の医療	被ばく医療
必修科目/必修選択	選択必修	選択必修
実施形態	e-learning	e-learning
担当教員	高橋昌	高橋昌
科目区分	災害医療科目群	災害医療科目群
科目番号	B13	B14
総時間数	1時間	1時間
履修条件	1コンテンツごとの視聴可	1コンテンツごとの視聴可
更新日	2023/10/1	2023/10/1
概要	<p>自然災害や事故に限らず化学剤や放射性物質等の散布や爆薬による爆発などがある。このような特殊災害は特殊な知識や対処法、装備や体制がないと安全かつ適切に対応することができない。</p>	<p>被ばく医療は、被ばく状況の評価や、早期対応、健康管理と治療などが含まれる。専門的な知識と技術が必要な分野であり、放射線安全管理やガイドラインに基づいて実施されることも重要である。</p>
科目のねらい	特殊災害（CBRNE）時の医療について学ぶ	被ばく医療（総論）について学ぶ
学習の到達目標	特殊災害時の医療体制や対応について理解することができる。	<p>被ばく医療の基礎知識について理解することができる。</p> <p>人体への影響を理解することができる。</p> <p>内部被ばくについて理解することができる。</p>
参考文献		
評価の方法	e-learningの最後に小テストを実施	e-learningの最後に小テストを実施
授業計画詳細情報	<ol style="list-style-type: none"> 1.特殊災害（CBRNE）について 2.標準的初期対応について 3.今後の課題について 	<ol style="list-style-type: none"> 1.被ばく医療の基礎知識について 2.被ばく時の人体への影響について 3.内部被ばくについて